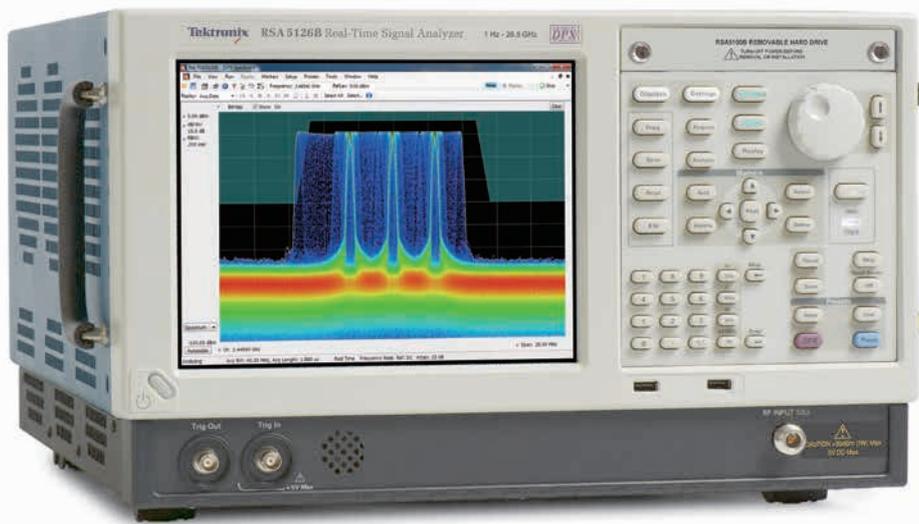


最高26.5GHz/165MHzのリアルタイム解析



NEW 802.11ac無線LAN通信規格に対応

Discover

39万回/秒DPXライブ・スペクトラム・表示

Trigger

トランジェント信号を補足

Capture

シームレス連続取込

Analyze

革新的なリアルタイム&マルチドメイン解析

■ 最高水準のRF性能を搭載 / RSA6000Bシリーズ

9kHz~20GHz
 RSA6120B型

9kHz~14GHz
 RSA6114B型

9kHz~6.2GHz
 RSA6106B型

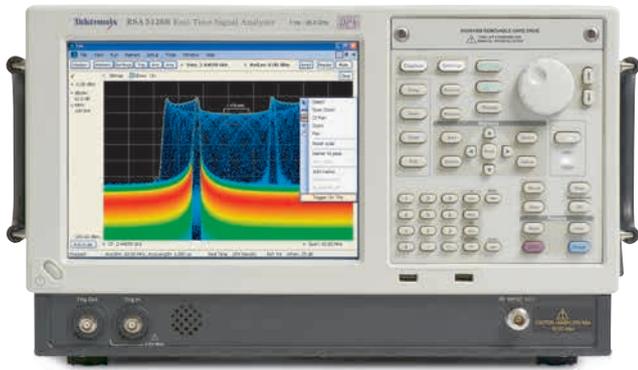
■ ハイエンド性能をミドルクラスの価格で / RSA5000Bシリーズ

1Hz~26.5GHz
 RSA5126B型

1Hz~15GHz
 RSA5115B型

1Hz~6.2GHz
 RSA5106B型

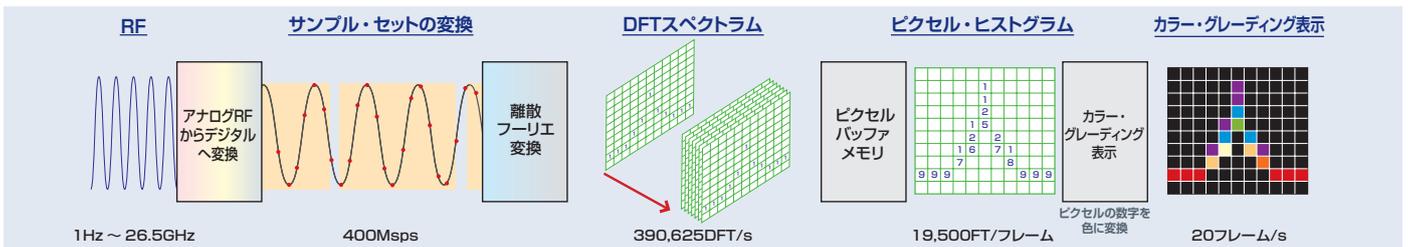
1Hz~3GHz
 RSA5103B型



RSAシリーズをおす

- 1 毎秒390,000回のDPXライブ・スペクトラ
- 2 最高165MHzのアクイジション帯域を実現。4G
- 3 Densityトリガをはじめとする豊富な拡張ト
- 4 2.7 μ 秒の瞬間ノイズも100%捕捉可能
- 5 DPXゼロスパン機能で、振幅/周波数/位相

Discover / 検出

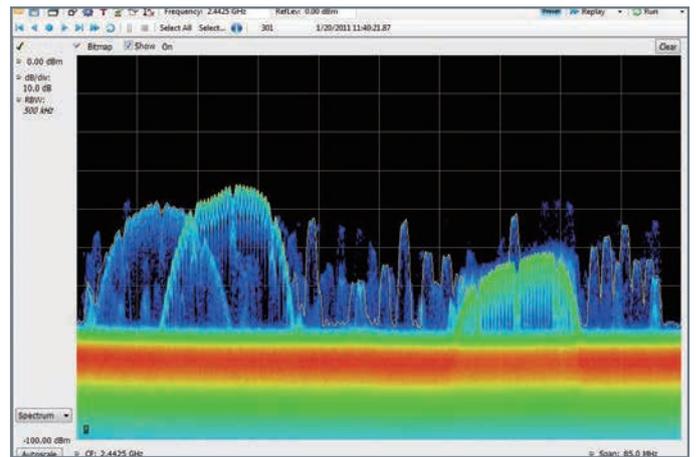


165MHzスパンでのDPXライブスペクトラム表示処理イメージ

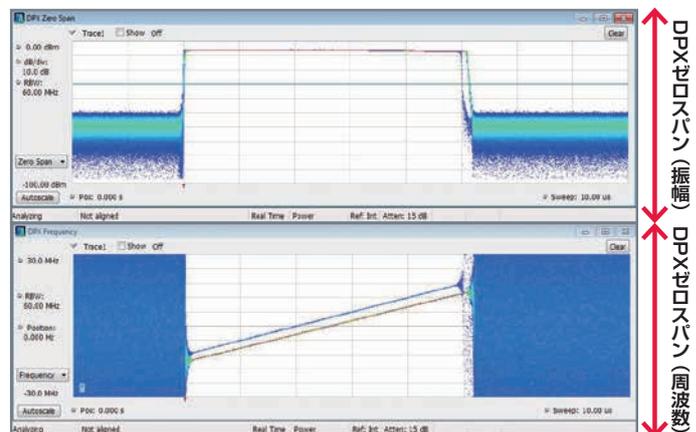
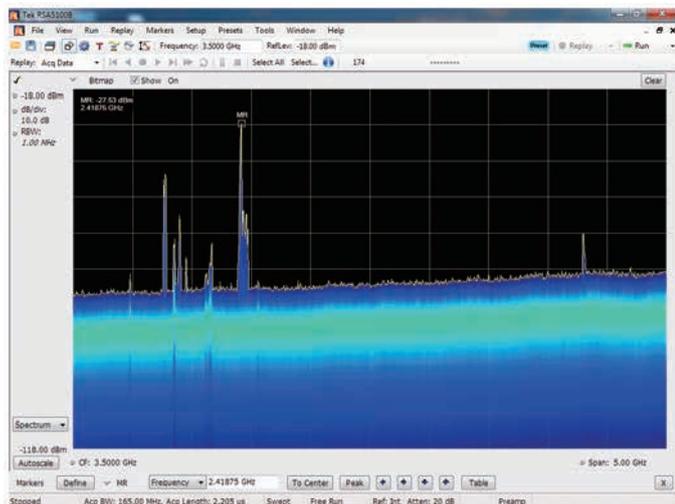
RF信号の異常や干渉、ノイズの発生などにおいては、見えないものに対策をすることはできません。最高26.5GHzまでの最大165MHz帯域幅のRF信号を、毎秒390,000回のDPXエンジンならば、わずか2.7 μ sの信号を100%確率で捕捉し、1フレームに19,500スペクトラム発生する頻度情報を毎秒20枚の動画で、色彩表現できるDPXスペクトラムで表示します。間欠的なノイズ、頻度の低い干渉波の検出も見逃すことはありません。

RF信号をIFに落とし14ビット、400MS/sのADCでサンプルし、スペクトラム変換後に動画フレーム毎に各ピクセル発生頻度に応じ色に変換します。

DPXライブ・スペクトラム表示は最大信号取込帯域幅内にて、取りこぼしの無いスペクトラム解析を実現しますが、取込時間を設定してDPX掃引機能を使用することにより、最高1Hz~26.5GHzのスパンでも優れた信号検出能力を発揮します。下記は1GHz~6GHzの5GHzスパンをRBW120KHzのDPX表示で周波数掃引し、各掃引毎に14,600スペクトラム処理を実施したEMI測定事例で約14秒 (RSA6100BシリーズOpt.110) で完了します。



最高165MHzの帯域幅をDPXライブ表示。2.4GHzのISMバンド全ての捕捉も可能



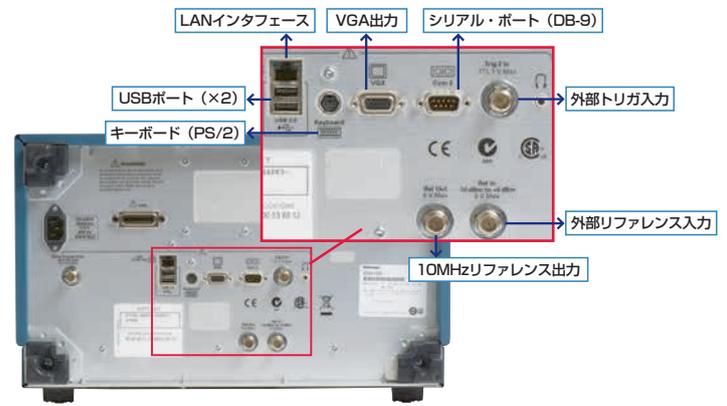
チャープ・パルス信号観測例です
 (上) 200ナパルスに一度のパルス変動を確実に検出。
 (下) 同じ信号をDPX周波数で観測した際、チャープの周波数シフトを検出

当社独自の掃引IDPX機能により、5GHzという広いスパン設定でリアルタイム取込みによる間欠信号の補足が可能です。

わけ すめする、5つの理由

ム表示で、間欠現象も確実に観測
ポイント・レコード長で最高5.36秒の長時間取込み可能
リガで複雑なトランジェント信号を捕捉

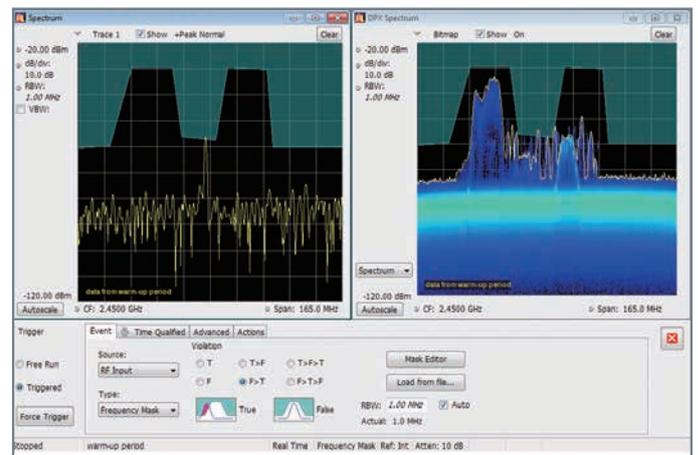
のリアルタイム表示を実現



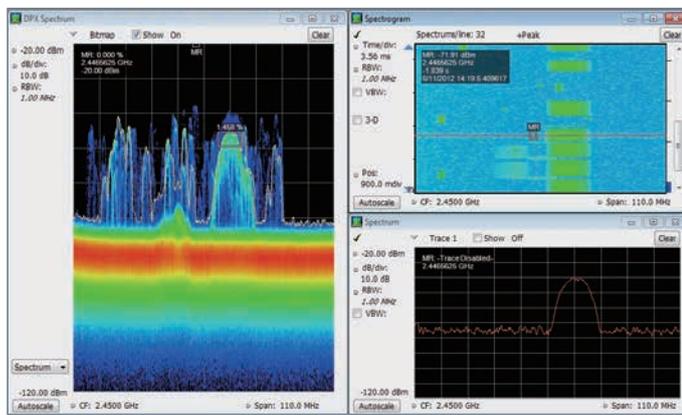
Trigger / 豊富な拡張トリガで複雑なトランジェント信号を捕捉

DPXスペクトラム表示で検出されたスペクトラムに問題があれば、その詳細解析が必要です。詳細解析は問題と思われる信号のすべての周波数成分を時間波形としてメモリに取込む必要があり、そのタイミングを決めるトリガ機能が重要です。

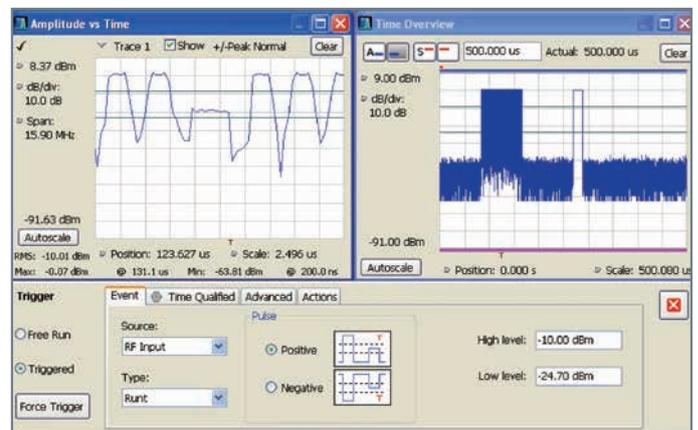
- Densityトリガ：混み合ったスペクトラムの中でもDPXスペクトラム上でマウスにて場所を指定するだけで、目的とする信号をメモリに取込が可能
- 周波数マスクトリガ：スペクトラム画面で任意のスペクトラムマスクを描きIn、Outの組み合わせでトリガ可能
- 上記以外、周波数エッジ・トリガ、RFパルス幅やパルスレベル異常を容易に検出するラント・トリガなどのタイム・クオリファイ・トリガを利用可能



周波数マスクは、マウスや数値入力で任意のマスクが作成でき、取得したスペクトラムを基準に容易に作成するAutoモードもあります。



2.4GHzのISMバンドでBluetooth、無線LANが飛び交う中で目的とする無線LANパーストをDensityトリガを使用して連続取得した例



レーダやパースト・パケットなど、RFパルスから特定のパルスを選択してトリガを掛けるタイム・クオリファイ・トリガ。レベル異常を検出するラント・トリガも使用できます。

Capture / シームレス連続取込

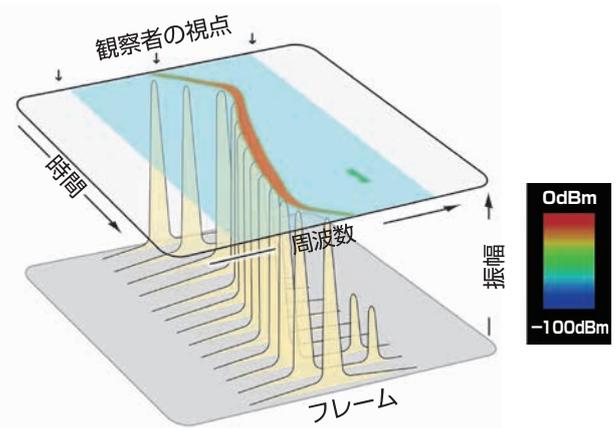
新開発DPXogramはDPXスペクトラム技術をさらに進化させ時間情報とリンクさせてスペクトラム情報を、最長4444日間記録し、レベルを色で表現するスペクトログラムでのモニタリングを可能にします。

取得したスペクトログラム信号はビデオレコーダを操作するように下記アイコン



で容易に操作が可能で、スロー再生とマーカ連動スペクトラム表示により発生頻度の低いスペクトラムも容易に把握することができます。

また、トリガ検出により取込んだ信号は165MHz帯域で最高5.36秒のシームレス連続取込ができます。更に、オプションのデジタルIQ出力と外部RAIDデータレコーダの使用により最大12TBの長時間連続機能40MHzスパンで11時間を実現します。

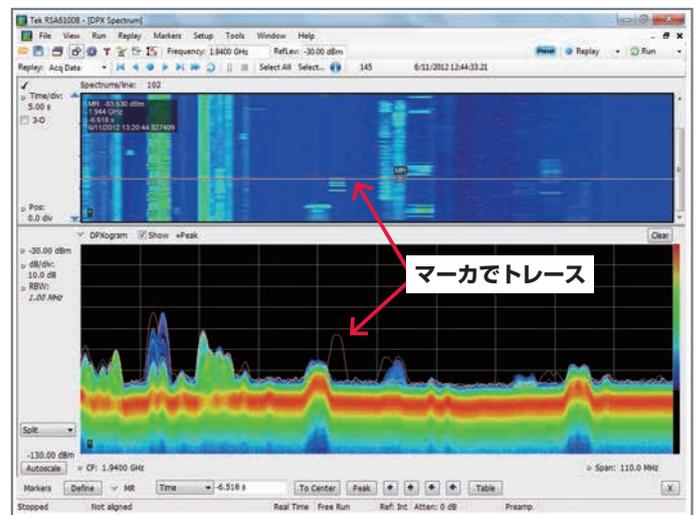


スペクトログラム概念図

RSA5000Bシリーズ レコード長（時間）と最小時間軸分解能

取込帯域	サンプル・レート (IおよびQ)	最大レコード長	最大レコード長 (Opt. 53)
165MHz	200MS/s	1.34s	5.36s
85MHz	200MS/s	1.34s	5.36s
80MHz	100MS/s	2.68s	10.73s
40MHz	50MS/s	4.77s	19.08s
25MHz	50MS/s	4.77s	19.08s
20MHz	25MS/s	9.54s	38.17s
10MHz	12.5MS/s	19.08s	76.35s
5MHz	6.25MS/s	38.17s	152.7s
2MHz*1	3.125MS/s	42.9s	171.8s
1MHz	1.56MS/s	85.8s	343.5s
500kHz	781kS/s	171.7s	687.1s
200kHz	390kS/s	343.5s	1374s
100kHz	195kS/s	687.1s	2748s
50kHz	97.6kS/s	1374s	5497s
20kHz	48.8kS/s	2748s	10955s
10kHz	24.4kS/s	5497s	21990s
5kHz	12.2kS/s	10955s	43980s
2kHz	3.05kS/s	43980s	175921s
1kHz	1.52kS/s	87960s	351843s
500Hz	762S/s	175921s	703687s
200Hz	381S/s	351843s	1407374s
100Hz	190S/s	703686s	2814749s

*1 2MHz以下のスパンでは、高い垂直分解能がストアされ、最大記録時間は短くなります。
*2 25MHzを超える帯域は機種によりオプションが必要な場合があります。



3G携帯アップリンク信号の帯域利用状況を容易に把握し、頻度の低いパーストをマーカで捕捉している事例

DPX MAXホールドを使用して、最長4444日の記録が可能

RSA5000B-Opt. 65付 **ミッシュインターナショナル社製**
データレコーダ FTR-RSA5100A

上記レコーダを使用した合計容量は12TBとなり、RSA5100Bシリーズの帯域幅40MHzにてデータレートが300MB/sで11時間の記録が可能となります。

データレコーダに記録したデータは、メビウス社MWS-01型や当社SignalVu-PC型ソフトウェアで詳細解析が可能です。

RSA5000BシリーズにOpt. 65型デジタルIQ出力にミッシュインターナショナル社データレコーダを付属ケーブルで接続した事例

一度取込んだRF信号は、パワー対時間やスペクトログラムとマーカーで時間相関が取れ、任意の場所を選択して様々な解析を実行できます。RBWのようなRFパラメータの変更のために、新たに信号を取り直す必要もなく、発生頻度の少ない波形もスペクトラム解析、ベクトル解析などの詳細解析が可能となります。

オプションで用意している解析機能も組み合わせに制限は無く、必要な測定項目を同時に表示することが可能です。

マルチドメイン・スペクトラム解析

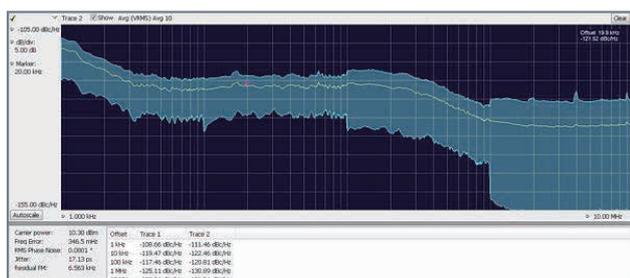


FSK変調の解析事例

マーカーを移動することにより周波数と時間の相関を取りマルチドメイン解析が可能

- 上段：スペクトラムの時間変化を3Dスペクトログラム解析表示（縦軸：振幅、横軸：周波数、右前傾斜軸：時間）
- 下段左：マーカー点のスペクトラム表示
- 下段右：周波数対時間表示（縦軸：周波数、横軸：時間）

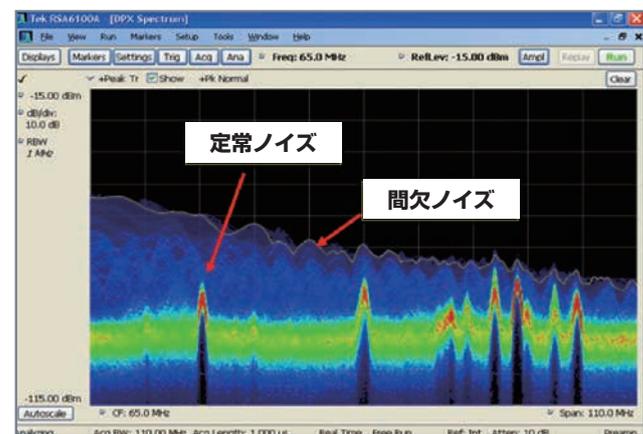
位相ノイズ／ジッタ測定 (Opt. 11)



オプションの位相ノイズ／ジッタ測定機能により専用の位相ノイズ・テストが不要になり、測定コストを抑えることができます。優れた位相ノイズ特性を実現しており、多くのアプリケーションで十分なマージンが得られます。

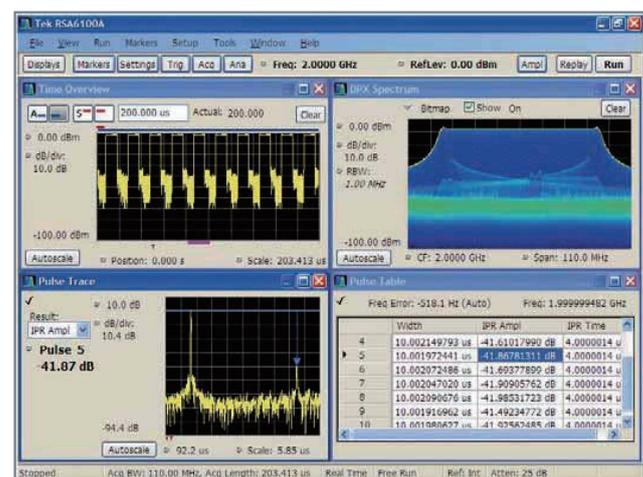
ノイズ測定 / 検証

スイッチング電源 間欠放射ノイズのDPX観測例 (10MHz-120MHz)



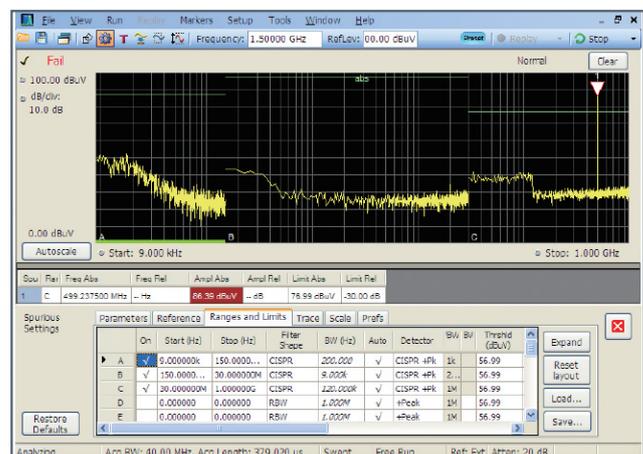
頻度が高い定常ノイズが赤色、単発的な間欠ノイズは青色で表示される。異種のノイズを同時に観測することができ、ノイズ対策の効果を容易に把握することが可能です。

パルス測定 (Opt. 20)



すべてのパルスで20種類以上のパルス・パラメータを自動計算。ピーク電力、パルス幅、立ち上がり時間、リップル、ドロップ、オーバーシュート、パルス間位相などの測定により設計の検証が容易に。また、インパルス応答や位相誤差測定などにより、リニアFMチャープの品質が解析できます。

EMIプリ・コンプライアンス掃引測定



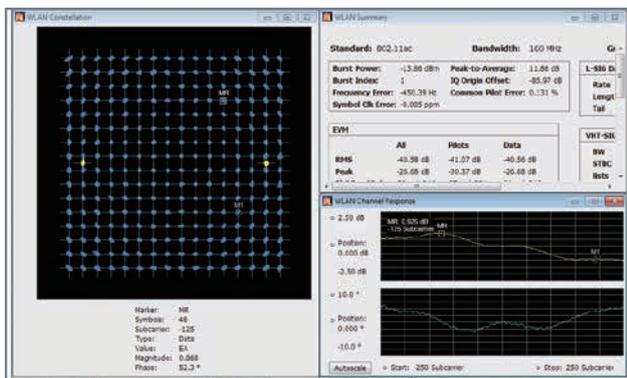
VCCI等の規格に必要な設定のライブラリを用意。規格値設定がワンクリックで簡単に設定することができ、便利なPass/Fail判定が装備されています。QP検査等でも短時間に測定ができるため、作業時間の短縮が可能です。



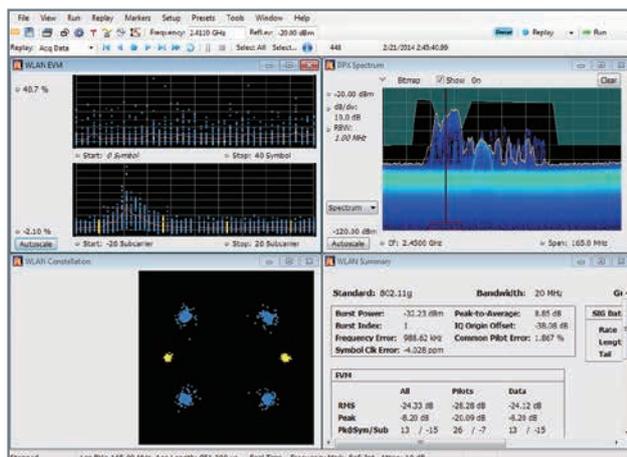
NEW 802.11ac無線LAN通信規格に対応

802.11 a/b/g/j/n/p/ac 解析

- IEEE802.11acに必要とされる160MHz帯域、256QAMの測定に対応
- リアルタイム・スペクトラム表示と変調解析を同時に表示できるので、トランスミッタ試験だけでなく、干渉信号と通信品質の関連が測定できる



IEEE802.11acの160MHz、256QAMの解析にも対応 残留EVM -45dB (代表値)



リアルタイム表示でトリガをかけて無線LANのチャンネルを選択して解析

IEEE802.11a/b/g/j/pに対応 (Opt.23)

IEEE802.11nに対応 (Opt.24)

IEEE802.11acに対応 (Opt.25)

測定項目：

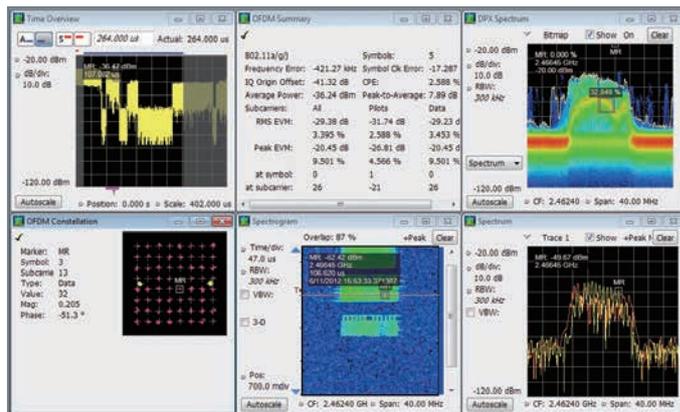
IEEE規格に定義されたすべてのRFトランスミッタ測定に対応

- キャリア周波数誤差
- シンボル・タイミング誤差
- 平均/ピーク・バースト・パワー
- IQ原点オフセット
- RMS/ピークEVM
- SEM (スペクトラム・エミッション・マスク)

解析表示：

- EVM対サブキャリア/シンボル
- 位相/振幅誤差対サブキャリア/シンボル
- チャンネル・レスポンス
- スペクトラム平坦性
- パケット・ヘッダのデコード情報
- シンボル・テーブル

マルチドメイン・スペクトラム&変調解析



Bluetoothと無線LANの混在する環境でDensityトリガにて無線LAN信号パケットを取込みOFDM変調解析とスペクトラム解析を時間相関を取り実施した事例

- 上段左：振幅対時間表示 (縦軸：振幅、横軸：時間)
- 上段中央：802.11g/OFDM詳細解析結果
- 上段右：DPXライブスペクトラム表示
- 下段左：802.11g/OFDM コンスタレーション
- 下段中央：スペクトログラム表示
- 下段右：スペクトラム (黄色：指定区間、褐色：スペクトログラム上のマーク点)

SignalVu-PC デジタル変調解析ソフトウェア

- RSA5000B/6000Bシリーズで取込んだ波形を同じユーザ・インターフェースでオフライン解析
- オシロスコープで保存した波形の解析にも対応
- MDO4000Bシリーズとの組み合わせではライブ・リンク機能により、連続してデータの取込みが行える
- 無線LAN解析、汎用デジタル変調解析他、解析機能を搭載可能
- PC間でライセンスを移行が可能

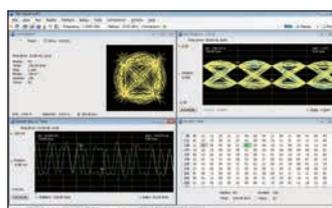
フィールドで測定後、ラボでのオフライン解析が可能



オリジナルのIQデータを保持した解析の為、後から設定を変えて再解析することが可能

例：分解能帯域幅、変調方式、測定項目の変更など

高度な信号解析機能



アナログ/デジタル変調解析オプション

AM, FM, QPSK, QAM, FSK等の変調方式に対応

各ディスプレイ間で時間/周波数の相関がとれたマークを使用可能

教育機関向けバージョンもご用意！

教育機関のお客様には、コスト効率の良いSignalVu-PCEDUをご用意しております。通常のエデュケーション・ライセンスと異なり、全てのオプションをご利用いただける非常にお得な、オフラインPCソフトです。

関連製品

近接界プローブ 100kHz~1GHz

EMI/EMC診断時にノイズ発生箇所の探索や対策後び効果確認要に、まだRFID、キーレス・エントリ・システムなどの簡易アンテナとして、ご利用いただけます。

- 近接界プローブ：119-4146-xx
- 周波数範囲：100kHz~1GHz
- インピーダンス：50Ω



■ セット内容

磁界プローブ：3本

60mm ループ磁界プローブ
広い範囲に

30mmループ磁界プローブ
雑音発生箇所特定に

10mmループ磁界プローブ
狭い範囲に

電界プローブ：2本

32mm球状ダイポール・アンテナ
広い範囲に

スタブ・チップ
ピンポイント測定用

200mm 延長グリップ

LANGER社製 近磁界プローブ* 30MHz~6GHz

独ランガー社の近磁界プローブアンテナは、EMI用にマッチングされており、チップレベルでの微小ノイズに向く高解像度が特徴です。部品レベルでのノイズ源の特定にご利用ください。

- 近磁界プローブ・セット：XF1
- 周波数範囲：30MHz~6GHz



■ セット内容

XF-R 400-1

25mm ループ磁界プローブ
高感度が特徴

XF-R 3-1
HF磁界の検出用プローブ
ミリ範囲の解析に
(分解能約1mm)

XF-B 3-1
垂直磁界の探知用プローブ
分解能約2m

XF-U 2.5-1

極小導電経路用プローブ
分解能0.5mm

XF-E 10
電界検知用プローブ
分解能0.2mm

*詳細については、弊社営業までお問い合わせください。

全自動EMIノイズ・スキャン・システム*

Aprel社 EM-ISightはRSA5000/6000シリーズと多軸ロボットを組み合わせた完全自動の近接界EMIスキャンシステムです。被測定物の物理的位置でのノイズ分析により、類推に頼らない、ノイズの根本原因探索を可能にします。空間分解能は0.02mm、対応DUTサイズは約1.2m×1.2m×1.2mです。

半導体デバイス、液晶ディスプレイ、GPS、画像コントローラ、コネクタ、無線モジュール、アンテナ、電子/電気インターフェースなどのEMI規格適合検査、研究開発、製品検査に最適なシステムです。



*詳細については、弊社営業までお問い合わせください。

H500型・SA2500型ハンドヘルドスペクトラム・アナライザ

トラブル・シュートが困難だった干渉の問題に
堅牢なボディ、ホット・スワップが可能なバッテリーで過酷な環境に対応



H500型・SA2500型スペクトラム・アナライザは、フィールド環境において信号を簡単にスキャンし、識別し、位置を特定することができます。独自のDPXスペクトラム表示により、信号データベースで、特定の信号を識別、GPSマッピングにより、すばやく信号の位置を特定します。

型名	取込帯域	周波数レンジ	100% POIの 最小イベント間隔	SFDR (代表値)
SA2500	20MHz	10kHz~6.2GHz	125 μs~500 μs	70dB未満
H500	20MHz	10kHz~6.2GHz	125 μs	70dB未満

MDO4000Bシリーズ アナログ最高1GHz、RF最高6GHz

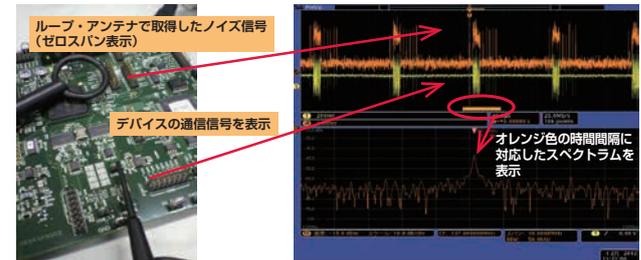
世界初、
“スペアナ統合” オシロスコープ



これってスペアナ？それともオシロ？

アナログ/デジタル、無線信号を1台で同時観測

ノイズ発生のタイミングが見える



型名	アナログ 周波数帯域	最高アナログ・ サンプル・レート	レコード長 (ポイント)	RF周波数レンジ
MDO4014B-3/34B-3	100MHz/ 350MHz	2.5GS/s	20M	9kHz~ 3GHz
MDO4054B-3/-6	500MHz	2.5GS/s	20M	9kHz~ 3G/6GHz
MDO4104B-3/-6	1GHz	5GS/s	20M	9kHz~ 3G/6GHz

共通仕様：アナログ4ch、デジタル16ch、RF1ch

MDO3000シリーズ アナログ最高1GHz、RF最高3GHz

コンパクトな筐体に6つの測定器を内蔵



この究極の6-in-1タイプのミックスド・ドメイン・オシロスコープには、スペクトラム・アナライザ、任意波形/ファンクション・ジェネレータ、ロジック・アナライザ、プロトコル・アナライザ、デジタル・ボルトメータ/周波数カウンタの機能が統合されています。

MDO3000シリーズはカスタマイズの自由度が高く、必要な機能と性能をいつでも追加することができます。

型名	アナログ 周波数帯域	チャンネル数	レコード長 (ポイント)	RF周波数レンジ
MDO3012/3014	100MHz	2ch/4ch	10M	9kHz~3GHz
MDO3022/3024	200MHz	2ch/4ch	10M	9kHz~3GHz
MDO3032/3034	350MHz	2ch/4ch	10M	9kHz~3GHz
MDO3052/3054	500MHz	2ch/4ch	10M	9kHz~3GHz
MDO3102/3104	1GHz	2ch/4ch	10M	9kHz~3GHz

RSA5000Bシリーズ/RSA6000Bシリーズ基本性能

シリーズ	RSA5000Bシリーズ	RSA6000Bシリーズ
型名	RSA5103B/RSA5106B/RSA5115B/RSA5126B	RSA6106B/RSA6114B/RSA6120B
周波数測定レンジ	1Hz~3GHz/6.2GHz/15GHz/26.5GHz	9kHz~6.2GHz/14GHz/20GHz
リアルタイム取込帯域幅	25MHz (標準)、40MHz (Opt. B40)、85MHz (Opt. B85)、165MHz (Opt. B16X)	40MHz (標準)、110MHz (Opt. 110)
DPXライブ・スペクトラム表示	更新レート: 390,000スペクトラム/秒、100%POI: 2.7us (Opt. B16x, 09)	更新レート: 292,000スペクトラム/秒、100%POI: 3.7us (Opt. 110)
DPXゼロ・スパン機能		
測定帯域範囲/時間ドメイン帯域範囲	100Hz~最高取込み帯域まで/取込帯域の1/10,000 (最小1Hz) ~1/10以上	
掃引時間範囲	100ns~2000s (測定帯域幅>80MHz)	100ns~1s (測定帯域幅>60MHz)、100ns~2000s (測定帯域幅<60MHz)
最大入力レベル	+30dBm (アッテネータ10dB以上、プリアンプ: オフ)、+20dBm (アッテネータ10dB以上、プリアンプ: オン)	+30dBm (アッテネータ10dB以上、プリアンプ: オフ)、+20dBm (Opt. 50、プリアンプ: オン)、+30dBm (Opt. 51、プリアンプ: オン)
最大入力DC電圧	±5V	
絶対振幅精度	±0.3dB (10MHz~3GHz)、±0.5dB (3GHz~6.2GHz) ±0.75dB (6.2GHz~15GHz) ±0.9dB (15GHz~26.5GHz)	±0.5dB (10MHz~3GHz)、±0.8dB (3GHz~6.2GHz)、±1.5dB (6.2GHz~20GHz: RSA6114B/RSA6120B型)
ダイナミック・レンジ		
表示平均ノイズ・レベル (1GHz)	-155dBm/Hz (代表値、プリアンプ: オフ)、 -167dBm/Hz (代表値、プリアンプ: オン)	-153dBm/Hz (代表値、プリアンプ: オフ)、 -167dBm/Hz (代表値、プリアンプ: オン)
ACLR (3GPPダウンリンク、1DPCH)	-82dB (ノイズ補正時、代表値)	
位相ノイズ @1GHz (オフセット値)	-103dBc/Hz (1kHz)、-109dBc/Hz (10kHz)、-112dBc/Hz (100kHz)、 -130dBc/Hz (1MHz)、-137dBc/Hz (10MHz)	-100dBc/Hz (1kHz)、-106dBc/Hz (10kHz)、-107dBc/Hz (100kHz)、 -128dBc/Hz (1MHz)、-134dBc/Hz (10MHz)
残留応答		
500kHz~32MHz (LFバンド)	<-100dBm (代表値)	<-90dBm
500kHz~80MHz (RFバンド)	<-75dBm (代表値)	<-90dBm
80MHz~200MHz	<-95dBm (代表値)	<-90dBm
200MHz~20GHz/26.5GHz	<-95dBm	<-95dBm
スプリアス応答 (オフセット≥400kHz)		
30MHz~6.2GHz	-75dBc (代表値)	-78dBc (代表値)
6.2GHz~20GHz/26.5GHz	-73dBc (代表値)	-75dBc (代表値)
レコード長と最少時間分解能	P4左下に掲載した、詳細をご覧ください。	
トリガ・タイプ	パワートリガ、外部、周波数マスク/DPX Density/周波数エッジ/ラント/タイム・クオリファイ	
測定機能		
スペクトラム解析	スペクトラム、DPXスペクトラム表示、スペクトログラム、スプリアス、位相ノイズ (Opt. 11)	
アナログ変調解析	AM、FM、PM	
デジタル変調解析 (Opt. 21)	対応変調方式: $\pi/2$ DBPSK、BPSK、SBPSK、QPSK、 $\pi/4$ DQPSK、D8PSK、D16PSK、8PSK、OQPSK、SOQPSK、 CPM、16/32-APSK、16/32/64/128/256QAM、MSK、GMSK、2-FSK、4-FSK、8-FSK、16-FSK、C4FM	
無線LAN解析 (Opt. 23, 24, 25)	対応規格: IEEE802.11a/b/g/j/p (Opt. 23)、IEEE802.11n (Opt. 24)、IEEE802.11ac (Opt. 25)	
その他	拡張測定解析 (Opt. 20)、AM/FM/PM変調&オーディオ解析 (Opt. 10)、セトリング時間測定 (Opt. 12)、OFDM解析 (Opt. 22)	
環境特性 / その他		
電源電圧 / 最大消費電力	90~264VAC (50~60Hz)、400W	90~264VAC (50~60Hz)、450W
温度範囲	動作時: +5~40°C	
寸法 / 重量	282mm(高さ)×473mm(幅)×531mm(奥行)、29kg(全てのオプション込み)	282mm(高さ)×473mm(幅)×531mm(奥行)、26.4kg

ご購入の際は下記型名をご使用ください。

リアルタイム・シグナル・アナライザ本体

RSA6120B型	9kHz~20GHz、40MHz取込帯域
RSA6114B型	9kHz~14GHz、40MHz取込帯域
RSA6106B型	9kHz~6.2GHz、40MHz取込帯域
RSA5126B型	1Hz~26.5GHz、25MHz取込帯域
RSA5115B型	1Hz~15GHz、25MHz取込帯域
RSA5106B型	1Hz~6.2GHz、25MHz取込帯域
RSA5103B型	1Hz~3GHz、25MHz取込帯域

■ オプション

Opt. 05	- デジタル/Q出力 (RSA6000Bシリーズ)
Opt. 09	- 拡張リアルタイム
Opt. 50	- プリアンプ、1MHz~3/6.2GHz、20dBゲイン (RSA5103B/RSA5106B及びRSA6106B型)
Opt. 51	- RSA6114B型/RSA6120B型: プリアンプ、100kHz~14GHz/20GHz、30dBゲイン RSA5115B型/RSA5126B型: プリアンプ、1MHz~15GHz/26.5GHz、20dBゲイン
Opt. 52*1	- 周波数マスク・トリガ
Opt. 53	- メモリ拡張、4GBアクセシビリティ・メモリ
Opt. 56*2	- リムーバブルSSD (RSA5000Bシリーズ: 480GB、RSA6000Bシリーズ: 160GB)、Opt. 57、Opt. 59と同時に発注できません。
Opt. 65	- デジタル/Q出力 (RSA5000Bシリーズ)
Opt. 66	- ゼロスパン・アナログ出力 (RSA5000Bシリーズ)

Opt. 57*2 - CD/DVD-RWおよび内蔵HDD (160GB)、Opt. 56、Opt. 59と同時に発注できません。(RSA6000Bシリーズ)

Opt. 59*2 - 内蔵HDD (160GB)、Opt. 56、Opt. 57と同時に発注できません。

Opt. 10 - オーディオ測定

Opt. 11 - 位相ノイズ/ジッタ測定

Opt. 12 - セトリング時間 (周波数、位相)

Opt. 20 - 拡張信号解析機能 (パルス測定を含む)

Opt. 21 - 汎用変調解析

Opt. 22 - OFDM解析

Opt. 23 - 802.11a/b/g/j/p 変調解析

Opt. 24 - 802.11n 変調解析

Opt. 25 - 802.11ac 変調解析

Opt. B40 - 40MHzのアクセシビリティ帯域 (RSA5000Bシリーズ)

Opt. B85 - 85MHzアクセシビリティ帯域幅 (RSA5000Bシリーズ)

Opt. 110 - 110MHzのアクセシビリティ帯域 (RSA6000Bシリーズ)

Opt. B16x - 165MHzのアクセシビリティ帯域 (RSA5000Bシリーズ)

Opt. PFR - 高精度タイムベース (RSA5000Bシリーズ)

Opt. RSA56KR - ラックマウント付

*1 RSA5000Bシリーズ標準装備/RSA6000Bシリーズ有償オプション

*2 Opt. 56 (リムーバブルHDD) またはOpt. 57 (CD/DVD-RWおよび内蔵HDD)、Opt. 59 (内蔵HDD) のいずれかが必要です。また同時発注はできません。



〒108-6106 東京都港区港南2-15-2 品川インターシティ B棟6階

テクトロニクス お客様コールセンター TEL: 0120-441-046
電話受付時間/9:00~12:00・13:00~18:00(土・日・祝・弊社休業日を除く)

jp.tektronix.com

記載内容は予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

Copyright © Tektronix. All rights reserved. TEKTRONIX およびTEKはTektronix Inc.の登録商標です。記載された製品名はすべて各社の商標および登録商標です。

2014年3月 37Z-28241-2